



令和 3 年 12 月 2 日  
午前・午後 9 時 15 分 受領

No. 1

令和 3 年 12 月 2 日

議長	事務局長	係
		

愛南町議会議長 原田 達也 殿

愛南町議会議員 池田 栄次

### 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

( 答弁一括方式 ・ **答弁分割方式** )

質 問 の 要 旨	答弁を求める者
<p>1. 死亡届提出後の手続きの一元化の周知について</p> <p>町民の方から愛南町には「おくやみコーナー」は無いのかとの問い合わせがありました。人が亡くなると、個々の家族状況によって違いがありますが、死亡届を出された方へのご案内をもとに、葬儀が終わった後に、「こんなにもやることあるのか」というぐらい国民健康保険、国民年金、介護保険、税金関係などの死亡に関する手続きが必要になります。県内でもいくつかの市で手続きの一元化の取り組みが行われホームページで周知されています。本町の取り組みを町民課に聞いたところ、死亡届け出の際に、死亡手続きが必要なものの案内書面をお渡しし、各担当課に情報を伝え、各窓口を移動することなく、本庁町民課及び各支所の窓口で一括して手続きを終えることが出来る体制を整えているとのことでした。ご遺族の負担低減の取り組みについて、窓口の情報、死亡手続きが必要なものの情報をホームページで周知をしてはどうでしょうか。見解をお伺いします。</p>	町長
<p>2. 町民一人一人の積極的な健康づくり(スマートフォンを使って楽しく健康ポイント)について</p> <p>令和3年3月に策定された第9次高齢者福祉計画・第</p>	町長

8 期介護保険計画によると我が町の高齢化率は令和 2 年度は 44.29%、令和 5 年度推計 47.46%、「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」によると 2020 年を境に高齢化率が生産年齢人口割合を上回り、2030 年には高齢化率 52.2%、生産年齢人口割合 40.4%、2040 年には高齢化率 57.4%、生産年齢人口割合 36.2%と推計されています。支える人口のほうが少なくなり介護従事者の不足、サービスの低下、介護保険料の上昇を招きます。「介護保険事業状況報告」によると令和 2 年度の被保険者の要支援・要介護認定率は 20.9%と県内 10 位です。第 7 期計画の総括で要支援・要介護の新規認定者の平均年齢は要支援では 82 歳で維持、要介護では 82 歳で 2 歳短縮となり目標未達成で、より早期からの介護予防の取り組みが行え、効果的に介護予防の習慣づけが出来るよう、若いうちからの取り組みの推進が課題とされています。町内在住の高齢者へのアンケート調査の一部を見ますと、「15 分以上歩いていますか」との問いに「できるししている」が 68.77%、「できるけどしていない」が 19.7%という状況です。第 2 次愛南町健康増進計画では、今後の課題として、メタボリックシンドローム該当者の割合が県下でも高い状況であるため、その予防対策が必要、特定健診やがん健診の受診者の固定化がみられるため、働き盛り世代を含めた新規受診者を増やす等の受診率向上の対策が必要とされています。10 年後のあるべき姿として、健康保持増進、生活習慣病の重症化予防のため一人一人や仲間同士で健康づくりに取り組むまちとされ、取り組みとして健康寿命の延伸、働き盛り世代を中心とした食習慣や運動習慣などの改善、血圧・体重の定期的な測定、ウォーキングをしながら仲間で見守り、地域性により自家用車の利用が多く歩く機会が少ないため自分にあった運動を習慣化できる人を増やす、10 分程度なら車を使わ

ずに歩く人の割合を増やすなどが掲げられています。町民一人一人の積極的な健康づくりが重要であると痛感します。各地で住民の健康生活の動機づけに大変有効と思われる健康マイレージ事業が実践されて成果をあげています。宇和島市では、うわじま歩<sup>ポ</sup>と題してスマートフォンアプリとスマートフォンの無い方向けのポイントカードを作成して、累計ポイントによるランキングや闘牛の育成画面等、健康づくりの見える化・ゲーム感覚で楽しめる化、ウォーキングコースや健康情報の提供を行い、高齢者が喜んで参加できるように歩行数や特定健診受診等のポイントに応じて地域の商店で利用できるクーポン・達成券等のインセンティブを用意して、運動習慣の動機付け・習慣化を行い、健康寿命の延伸・要介護認定率の減少に取り組んでいます。登録者のデータを用いて効果と課題を分析し、改善を行い令和3年11月には登録者数が1万人を超えたとのこと。男性の登録者が少ない、生活習慣病予防に必要な運動量に満たない方が7割を占めている等の課題があるものの、登録者は50代が最も多い、1年後の継続者が約6割で脱落率が低い、歩数の平均値が上がっておりウォーキングの習慣化が見られる、健診受診率の向上に効果がある等の効果が認められています。本町でもウォーキングをされている方をよく見かけます。

健康増進と、まちの活性化に役立ち、デジタル社会にむけて高齢者にスマートフォンに親しんで頂く、効果的な制度だと思えます。

愛南町にふさわしいスタイルを構築して頂き、息の長い取り組みをして頂きたいと思えます。見解をお伺いします。